

日本学術会議 環境学委員会
環境政策・環境計画分科会サステナブル投資小委員会（第25期・第7回）
合同会議議事録

日時：2021年10月14日（木）13:00～15:00

場所：遠隔会議

出席者：馬奈木 俊介、大塚 直、北村 友人、阪 智香、西谷 公孝、村上暁信

司会進行：馬奈木

記録：阪

（1）SDGs/ESGの未来

専門家から、SDGs/ESGを伝えるPR（発信）の役割、「モノの価値」の再定義、ESG投資市場活性化、情報開示と株価への影響、ESGスコアリング、ESG主要項目開示率の日本企業と海外企業の比較、機関投資家が考える重大なESG課題、脱炭素社会に向けた動き、炭素税、カーボンプライシングとオフセットクレジット、サステナビリティ・トランスフォーメーションなどについて説明があった。

その後、農地貯蓄による新たなクレジット取引事業の可能性、地域版SGDsと企業投資の結びつき、地域循環共生圏への貢献、自治体によるSDGs目標と情報開示のあり方、金融機関のESG情報ニーズやランキング評価のあり方、企業の排出量データ開示の範囲、企業による社会貢献効果の評価方法、企業のESG評価のニーズと評価（インデックス）の工夫などについての質疑応答があり、本分科会にとって有益な議論となった。

（2）議事要旨

議事要旨の提出に関しては委員長に一任することを承認。

（3）次回委員会

2021年11月22日（月）13時～15時。

以上